



アクトレス

NO. 86

名古屋市演劇練習館機関紙

エッセイ

■「今日もノロノロ、明日もジタバタ」



劇団B級遊撃隊公演
「満月ドリル」
'13年11月8日～10日
名古屋市千種文化小劇場にて

きっかけは高校の文化祭だった。クラスの秀才が出し物に何故か、人形劇をやるうと言い出した。

仕方なく隅のほうでノロノロ手伝っていたのに気が付いたら脚本と主演をやらされていた。毎日始発列車に乗り、最終列車で帰った。

目立たない影の薄い生徒だった高校生活の唯一の思い出だ。

あの時の秀才は「ゲゲゲの女房」等の作品を有するシナリオライターになってしまった。

何故か次々とそんなスゴい人達との出会いが重なり後ろをノロノロとついて行って三十数年たってしまった。

あの文化祭の辛くも充実した体験が忘れられなかった事もあるが、素晴らしい人や集団との出会いがここまで続けさせてくれたと思っている。特に劇団の主宰で座付き作家の佃典彦や演出の神谷尚吾には随分色々な教えを受けた。昨年は気鋭の若手作家鹿目由紀さんや刈馬カオス君の作品に出させて頂いた。もう感謝しかない。

駆け出しの頃は、今と比べると良い時代だった。バブルにまだ片足が残っていた。小劇場でも千人単位の動員はちょこちょこあったしバイトでもそこそこ生活できた。バイトをはしごして稽古し、終わったら五百円玉握りしめて皆と飲みに行った。

理屈も何もなく、若さと体力と勢いだけの赤面するような拙い演技も随分してきてしまったが、あの若さが無ければ出来なかった事も沢山あっただろうと思う。

とは言え、演技、芝居のイロハらしき事を教わり始めるとかなり困った事になった。

山口 未知 (劇団B級遊撃隊 役者)

個性とと思っていた動作や台詞まわしの癖、相手と絡まない独りよがりの芝居、台本もまともにも読めない理解力の無さ…。叱られ罵倒されジタバタと迷い悩み考えた。栄日を迎えても反省の嵐。今でもまだその延長だ。

おまけにこれは内緒だが、段々台本の字が読みづらくなってきてしまった。ついに来るべき時が来てしまったのだ。こっそり眼鏡をハメたり外したりしてジタバタしている。

でも最近、苦しいばかりだった芝居がちょっとだけ面白くなってきた。相手役におんぶしてしまう事に味をしめたのだ。なんとまあ凶々しくなったものだ。相手役はたまったものではないだろう。うちの猫だって稽古に出掛けようとすると「たまったもんじゃない」って顔するけど、まだ出来ない事が多すぎるから、もうちょっとだけジタバタさせて貰いたい。

年数の割には出演作も多くはないし、大した活躍もしていないけれど、こんな文章を書いてみたり、後輩にアドバイスらしい事を言わなきゃならない立場にもなってきた。

困っている。目の前の事に必死だったただけで大した志も肩書きも人望も無い。

まあ、ジタバタしている後ろ姿を見て、後輩たちは良くも悪くも勝手に何かを感じていくんだらうなと思いつつ、今日も稽古場へ向かう坂道をノロノロと登っている。

次回作、劇団B級遊撃隊公演「間抜けのから」は6月12～14日栄の愛知県芸術劇場小ホールで上演します。今回のジタバタぶりを是非観に来て下さい。

トピックス

■ 演劇人が誇れる演劇祭を

長谷川 公次郎 (名古屋演劇杯実行委員会・名古屋演劇アーカイブ)



昨年度講評会の模様

昨年名古屋に「名古屋演劇杯」というフェスティバルが生まれました。これは劇団あおきりみかんの松井真人からの熱いお誘いを受けその場で快諾、数日後には開催が決定していたという企画です。

概要を説明しますと、参加劇団が夏から秋に掛けてG/PITで各公演を行い、それら全てを審査員が観劇の上、賞を決めるというものです。こう書くとよくあるフェスのように思えますが、いくつかこのフェス独自の特徴もあります。

まず第一に「俳優賞」が出るということです。世の中には劇団や、作演出に出される賞は非常に多いですが、俳優個人に出される賞というのはそれほど多くありません。それをやっておもうというものです。

舞台芸術というのは点数を決めたり評価を下すにはなかなか難しい代物です。そこには個人の好き嫌いであったり、時間を経ることで評価されるケースも往々にしてあるからです。だからと言ってじゃあ無しで、というのも勿体無い。その時代、

その瞬間に輝いている俳優は必ず存在をされていて、そういう方々をもっと多くの方に知って貰う為、更にステップアップして貰う為、そういう賞があってもいいのではないかなと思うのです。

そしてもうひとつは「講評」が出るということ。審査員が全ての劇団の講評を書き、フェスが終わった後の全体講評会で全劇団の講評をします。賞が貰えなかった劇団や俳優にも次に繋がるものを残すことが出来るのです。あつという間にステップアップしていく劇団も確かに存在はするのですが、世の中そういう劇団ばかりではありません。悔しい思いをし、発奮し、そこから素晴らしい作品を生み出されることもあるのです。その為の手助けとしての講評。

上記のものは全て劇団や俳優たちが更に高みに行く為の手助けとして設けられております。我々実行委員会は気概のある劇団を求め、集めています。そして是非多くの方に彼らの作品を観劇頂き、堪能して頂きたいと願っております。

※第二回名古屋演劇杯 8月1日～11月22日

アクテノン・シャワー

■ キャンドル演劇奨励基金の助成作品募集

キャンドル演劇奨励基金(メ〜テレ事業が平成5年に設定)が、平成27年度の助成作品を募集します。愛知県内に活動拠点を置く演劇団体の舞台公演が対象です。3作品を選考して、各30万円を助成します。募集の要項は下記の通りです。

1. 対象作品：愛知県内に活動拠点を置く演劇団体の県内舞台公演 3作品
2. 公演期間：平成27年10月1日～平成28年9月30日
3. 助成金額：1作品 30万円
4. 募集期間：平成27年6月30日(火)まで
5. 応募方法：所定の申込書を下記へ送付
6. 申込書の請求および送付先：〒105-8574 東京都港区芝3-33-1
三井住友信託銀行 リテール受託業務部 公益信託グループ
キャンドル基金担当 (TEL 03-5232-8910) 申込書ダウンロードサイトアドレスは
<http://www.smtb.jp/personal/entrustment/management/public/example/list.html>

■ 劇団BB★GOLD 祝☆旗揚げ!!

～アクテノンからまた一つ演劇団体が誕生いたしました～
アクテノンシニア演劇部を卒業した皆さんが中心になって立ち上げた劇団です。個性的な人達ばかり。元気に張り切って芝居を続けます。どうぞヨロシクお願いします。

(講師: 佃典彦)



アクテノン利用団体紹介

- ①発足年 ②団員数 ③主な上演作品/会場(上演年) ④連絡先

演劇 右脳中島オーボラの本妻



名古屋で演劇活動をしている、役者高橋佳菜と、社会人の作家丸龜御膳末吉、2人によるユニット。自称「超口語劇」。

置み掛ける様な否定と肯定の連続によって生まれる台詞の応酬と、唐突に切り替わる場面転換によって生まれる新たな劇体験を目指しております。

また、極端に少ない音響効果とセオリ一度外視の照明効果をモットーとしております。観劇後頂くアンケートの7割が、「よく解らないけど面白かったです。」

①2007年 ②2名

③『女の日常と解毒剤の処方箋』/七ツ寺共同スタジオ('07年) 『群像Sレナアデ』/G/pit('11年) 『ざらめセルロイド』/福岡国際コメディ演劇フェスティバル('14年)

④HP:unounohonsai.xxxxxxx.jp
E-mail:oobora6@yahoo.co.jp

アクテノンに一言 いつもありがとうございます。右脳中島オーボラの本妻の企画展…やってみたりしませんか??

演劇 イベント企画 トーク・ショー



イベント企画 トーク・ショーはイベントの一環として妖帝デカダンスという劇団もしています。

妖帝デカダンスは「平成版昭和見世物小屋」を掲げ、今の名古屋では少ないアングラ劇を創っています。ただ、アングラ=小難しいを廃し、お客様に楽しんでいただけるようにわかりやすい作品を創っています。今年の11月にはオープン公演も決定しています。

イベント企画団体なので、演劇以外の活動も行っていますので、ご注目ください。

①2013年 ②6名

③『狂の夢～猫奇歌～』/ナンジャール('14年) 『女殺酒地獄』/七ツ寺共同スタジオ('14年) 『注文の多い料理店』/小劇場PICO('14年)

アクテノンに一言 大変お世話になっております。イベント企画の一環として妖帝デカダンスなる劇団を運営しています。少人数利用にもかかわらずていねいな対応に感謝しています。今後ともよろしく願いいたします。

公演のご案内

★アクテノンの利用団体の公演をご案内します。 ①会場 ②日時 ③料金 ④問合せ先

<p>楽演SUDAKU5.5 『ドラキュラ伯爵の秋』</p>	<p>① ナンジャール ② 6月12日(金) 19:30、13日(土) 14:00 19:30、14日(日) 11:00 15:00 ③ 前売・当日1,500円 ④ ☎052-414-7257 rakusudaku5.5@gmail.com 楽演SUDAKU5.5の第2回公演は別役実に挑戦!不条理と条理の世界の果て。</p>
<p>劇団翔航群 結成25周年記念公演 『ねじれの街』</p>	<p>① 愛知県芸術劇場 小ホール ② 6月19日(金) 19:00、20日(土) 13:00 18:00 ③ 前売2,800円(当日3,000円) 学生前売2,300円(当日2,500円) 高校生以下前売2,000円(当日2,200円) ペア前売5,000円 ④ ☎090-8556-6118 info@shokogun.com</p>
<p>劇団BB★GOLD 旗揚げ公演 『おばけリンゴ』</p>	<p>① 名古屋市千種文化小劇場(ちくさ座) ② 7月3日(金) 14:00 19:00 ③ 前日・当日2,000円 ④ bbgoldside@gmail.com 大人も子供も楽しんでいただける、エネルギーでファンタジックな舞台を目指します。</p>
<p>オイスターズが送る 珠玉の短編・中編集 『劇玉Ⅲ』</p>	<p>① 損保ジャパン日本興亜人形劇場 ひまわりホール ② 7月9日(木) 19:30、10日(金) 19:30、11日(土) 14:00 19:30、12日(日) 11:00 15:00 ③ 前売2,500円(当日2,800円) 二回券4,000円(要予約) 三回券5,000円(要予約) ④ theatrical_unit_oysters@yahoo.co.jp やっぱり面白いのでぜひ観に来て下さい。いつもより沢山のひと、平塚ワールド全開です。</p>



編集発行/平成27年5月25日(年4回)

公益財団法人名古屋市文化振興事業団 [演劇練習館 [アクテノン]]

〒453-0841 名古屋市中村区稲葉地町1-4-7

TEL 052-413-6631 FAX 052-413-6632

※この印刷物は、古紙パルプを含む再生紙を使用しています。

